

(エ)

混合液工は、溶液中のイオンが（X）とわかり（Y）性であると考えられますね。

塩酸 水酸化
100cm³ ナトリウム マグネシウム1.00g

混合液	水溶液D の体積	マグネシウムを加 えたときの反応	残ったマグネ シウムの質量
ア	20cm ³	気体が発生した。	0.00 g
イ	40cm ³	気体が発生した。	0.40 g
ウ	60cm ³	気体が発生した。	0.80 g
エ	80cm ³	反応しなかった。	1.00 g

水酸化 ナトリウム マグネ
シウム

20cm³ → 0.40g増加
20cm³ → 0.40g増加
↓
10cm³ → 0.20g増加

塩酸 水酸化
100cm³ ナトリウム

混合液	水溶液D の体積	マグネシウムを加 えたときの反応	残ったマグネ シウムの質量
ア	20cm ³	気体が発生した。	0.00 g
イ	40cm ³	気体が発生した。	0.40 g
ウ	60cm ³	気体が発生した。	0.80 g
エ	70cm ³	反応しなかった。	1.00 g

水酸化 ナトリウム マグネ
シウム

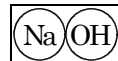
10cm³ → 0.20g増加
0.80 + 0.20 = 1.00g

+10cm³ ↓ ここで中性になる！（塩酸はもうない）

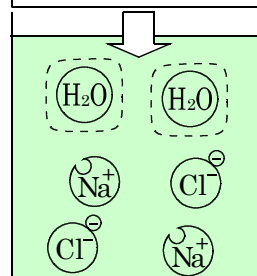
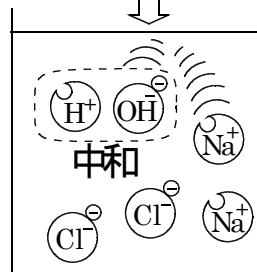
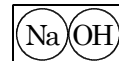
青	エ	80cm ³	反応しなかった。	1.00 g
---	---	-------------------	----------	--------

うすい水酸化ナトリウムが
そのまま10cm³ 残る！

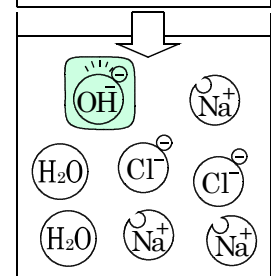
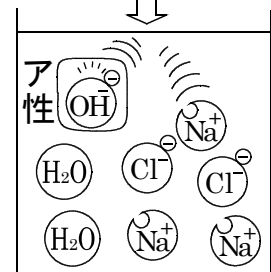
水酸化ナトリウム



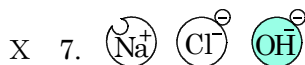
水酸化ナトリウム



緑 中性



青 アルカリ性



答 Y アルカリ性